

呼吸器リハビリテーション

呼吸リハビリテーションとは

入院・外来問わず、呼吸器疾患を持つ人及びその家族に対する個々の最大限の機能の改善と生活の質（QOL）の向上を目指した包括的医療を提供しています。

理学療法士・作業療法士の関わり

早期より介入し、患者の行動範囲を可能な限り拡大させ、退院までをスムーズに行えるようADL(日常生活活動)の確立、耐久性の維持、呼吸指導や動作時の休息のタイミング、日常生活動作において酸素が下がりやすい場面などのADLセルフエクササイズ、などの運動指導を行なっています。

また入院や外来時に在宅酸素導入や術前の酸素化評価の為に、医師の指示のもと時間内歩行試験を行っています。



言語聴覚士の関わり

呼吸器疾患で入院された方の摂食嚥下評価及び認知評価を行い、より良い状態で治療や呼吸リハビリに取り組めるよう支援しています。患者の状態に合わせて食事姿勢や食形態の調整を行い、誤嚥しにくく経口摂取量が保てるようにしています。

